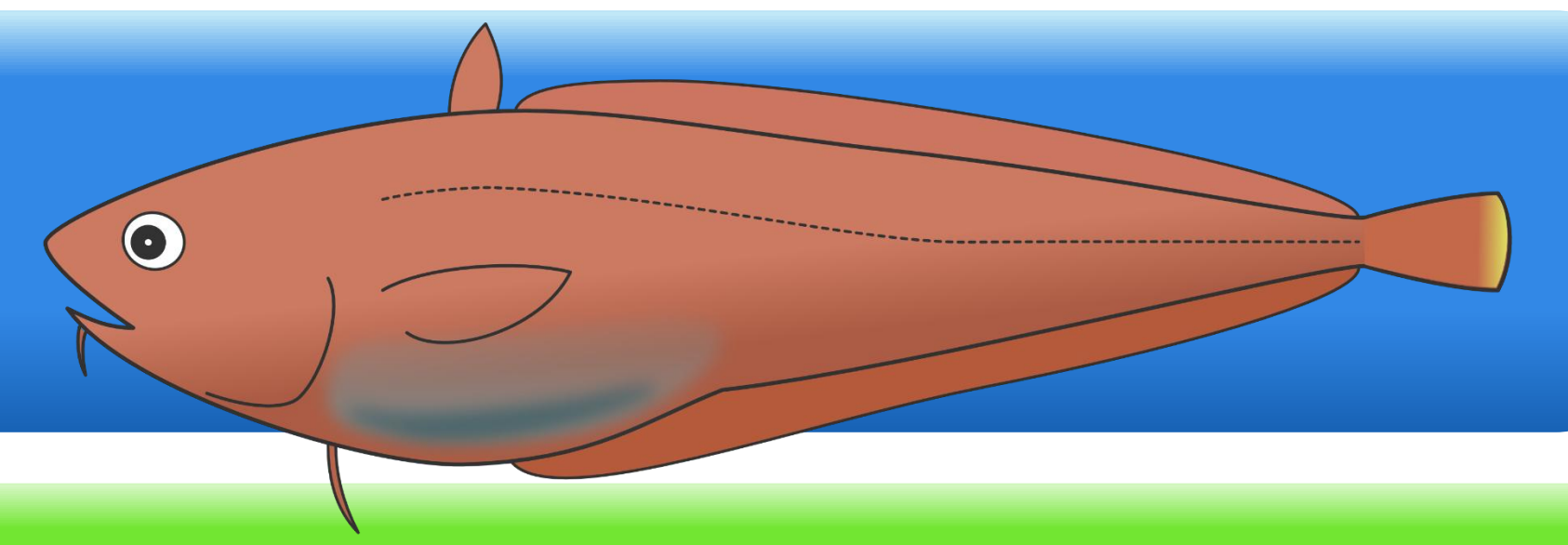


漁業調査指導船「いわき丸」の紹介



背景

平成26年10月に竣工した「いわき丸」は、明治40年(1907年)に竣工した「奈古曾丸」(なこそまる:19トン)から数えて10代目の沖合調査船です。

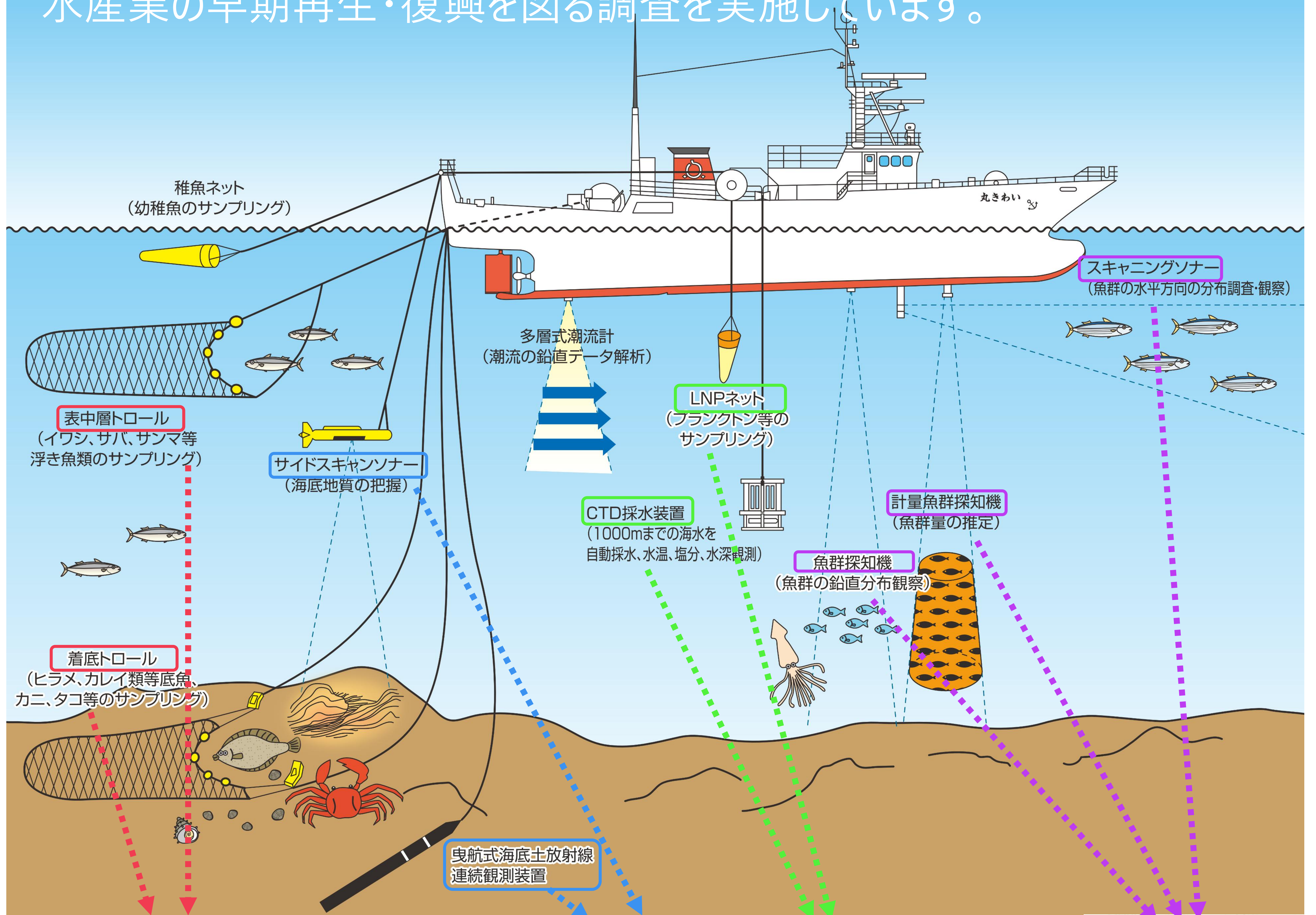
漁業活動を支援するために、福島県の海的环境や魚介類の状況を調査しています。

主な機能

全長	42.92m	主機関馬力	1,800馬力
幅	7.5m	速力	13ノット
深さ	3.2m	乗組員	15名
総トン数	189トン	調査員	2名

調査イメージ

水産業の早期再生・復興を図る調査を実施しています。



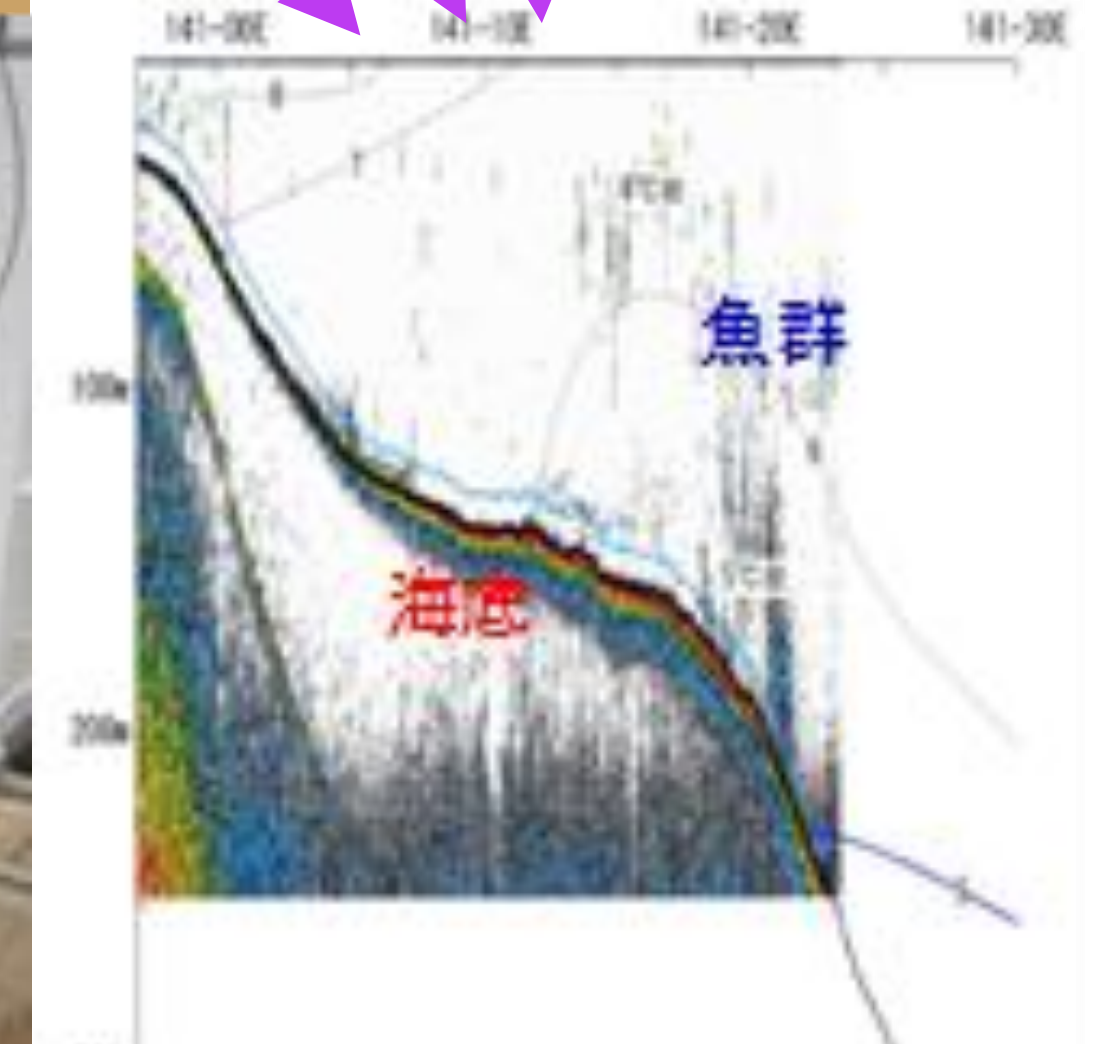
魚種別に分布、成長、放射性物質濃度を調べます



魚種別海底の放射性物質の分布や底質(岩盤、砂、泥)を調べます



水温や塩分、植物プランクトンの分布を調べます



サンマ、マイワシなどの魚場を調べます

- 放射性物質調査
- 底魚資源調査
- 浮魚資源調査
- 海洋観測調査
- 漁場環境調査

海洋環境の放射性物質の分布を把握し、漁業再開、風評払拭を支援する。
底魚の資源状況を調査し、持続的な資源管理方策等の提案につなげる。
浮魚の分布・来遊状況や資源状況を調査し、操業を支援する。
水温や潮流等を調べ、中長期変動や漁場形成要因を解明し操業を支援をする。
震災で変化した海底環境を調査し、漁場形成要因を解明し操業支援を行う。